

なんもく 山村ぐらし通信

移住者向けパンフレットを発行

移住後の暮らしをイメージしやすい情報が満載

南牧山村ぐらし支援協議会では、昨年9月に移住者向けのパンフレットを発行しました。

今まで南牧村には移住者向けの情報を発信するパンフレットがなく、移住相談のたびに簡易的なチラシをコピーし、村の観光パンフレットに載っている地図を併用しながら対応していました。移住相談が増えているなかで、バラバラの資料で提供していた情報を一つにまとめて相談の質を高めるため、移住者向けのパンフレットを新たに制作しました。

パンフレットはB3サイズを8つ折りにした手に収まるサイズになっており、オモテ面には仕事、住まい、暮らし、子育てなど、ウラ面には南牧村の概略地図や四季折々の写真などを入れました。地図には村内の商店・食堂や役場、郵便局を入れるなど、移住後の暮らしを具体的にイメージでき

るよう工夫をしました。

文章や配置などは、移住コーディネーターの大井川さんと考え、協議会員の皆さんにも意見をいただきました。さらに内容をもとめました。パンフレットのデザインは、東吾妻町出身のグラフィックデザイナー、玉橋ひかりさんにご協力いただきました。

ました。

移住を検討されている方にたくさん伝えたいことがあるなかで、優先的に伝えるべき情報を絞る作業や、地図にどこまでの情報を載せるのか、どういったデザインが見やすいのかを考える作業は、とても大変でした。またパンフレット



移住相談の流れやサポート体制、移住時のチェックリストも載せています

2025(令和7)年2月発行
通巻第43号(冬季号)

発行責任者・発行元：
南牧山村ぐらし支援協議会
問合せ：南牧村役場
移住・定住課
協議会事務局
電話：0274-87-2011(代)
紙面編集：松林・高柳



協議会QRコード

協議会HP
<https://nanmoku.org/>
活動内容や各種情報を
随時更新中!

【空き家問合せ件数】
R6年7~12月(前环比)

電話：12件 (-16)
7月 7件
8月 1件
9月 4件
10月 0件
11月 0件
12月 0件

メール等：37件 (+12)
7月 10件
8月 8件
9月 3件
10月 7件
11月 8件
12月 1件

現地見学：25件 (-1)
7月 7件
8月 5件
9月 0件
10月 4件
11月 7件
12月 2件

【協議会ウェブサイト
訪問・閲覧数】
7/1-12/31

閲覧数 43,000 (↓)
訪問数 9,235 (↑)
訪問者数 6,628 (↑)
平均ページ閲覧数
1訪問4.7ページ (↓)

NEW FACE 協議会メンバー紹介



昨年12月に地域おこし協力隊に着任しました
細井光博です。洞窟等の情報がありましたら、
ぜひ教えて下さい。よろしくお願いいたします。



昨年11月に地域おこし協力隊に着任しました
藤本奈々香です。皆さんと仲良く出来たら
なと思います。よろしくお願いいたします。

空き家の情報をご提供願います

近年、南牧村への移住希望者が増えています。協議会では、村民の皆さまからいただいた空き家の情報を、古民家バンク(空き家バンク)等を通じて移住希望者に紹介していますが、現在、紹介できる空き家が不足しています。家は住まないといけないので、ぜひ役場までご提供願います。また、次の場合にも対応しますので、まずは役場にご相談ください。

空き家がかなり傷んでいる

基本は現状で紹介し、補修や改修等は、借り主の負担で行います。傷みが激しい空き家でも、借り主が見つかることもあります。

賃貸や売買の契約手続がわからない

契約に関する手続きは、役場職員が丁寧に説明します。

荷物が多く残っている

片付け・処分の方法を

【情報提供・相談窓口】
南牧村役場 総務部
移住・定住課
(担当 高柳)

南牧村の古い写真を探しています

昔の村の様子や生活、構造物や行事などを写した古い写真はありませんか? デジタル化して本紙や協議会HPで紹介するなど、記録として残り、伝える活動に活用させていただきます。役場にご一報いただければ担当が伺いますので、ご協力よろしくお願いいたします。(山村ぐらし支援協議会)

会員からの投稿

続・磐戸鉱山跡地

南牧村の名所」と聞かれると中々出てこないのが現状である。初心者でも登れるような山々に囲まれた自然豊かな村」として登山・滝などが主な観光の売りであっても、村にふらりと寄った観光客が今から行けるような名所はないか」と聞いてきた時に満を持して答えられる場所がなかった。車で行くような、はたまた少し歩くくらいで行けるような名所は限られ、それも「季節の装飾」に頼っている部分が多い。季節問わず、車でも簡単にアクセスでき、名所としての迫力があり、注目されてこなかった穴場スポット。私には一つしか思い当たらない。

この村に移り住み、観光に関わってから約1年、その場所」を初めて見た時の感動は忘れられない。同時に自分の手で必ず観光地化する」という強い信念を抱いた。土地柄、危険性

など様々な問題があり、観光地として推し進めていく事は容易ではない。しかし1年間ひたすらに上司を説得し続けたのは無駄ではなかった。積み重ねてきた活動が今年から徐々に芽を出し始めた。新聞に掲載されたほか、群馬県の公式YouTubeチャンネルでも磐戸鉱山跡地プロモーションビデオが公開されている。今後も南牧村にできる新たな名所「磐戸鉱山跡地」に期待して欲しい。

朝倉寄稿



プロモーションビデオでの一幕

ぶらりなんもく

〜冬のおさんぽ編〜

冬の南牧村ではあちこちで見かける南天。最近歩くのが楽しくて仕方ない子どもと歩いてると玄關先に植えられているお宅が多いことに気がつきました。

元々縁起木として知られている南天。ナンテンが「難転」→難を転じて福となすに通じることかららしいですが、その実の赤い色にも縁起が良い厄除けの力があると信じられていたそうです。

江戸時代になると、百料事典「和漢三才図會」わかんさんさいずえ」には、南天を庭に植えれば火災を避けられる。という記述もあり、どこの家にも南天が火災よけとして植えられるようになったそう。



さんぽの風景

日々のお散歩からこうしたならわしや風習を知る機会を得られると、毎日がさらに楽しくなりますね。

高柳寄稿

ぐんま移住&交流フェア

〜村長も参加しました〜

令和6年11月10日(日)、毎年開催されている群馬県主催の移住相談会に私も参加してまいりました。会場は東京有楽町の東京交通会館です。各市町村(22市町村参加)の移住コーディネーターを中心に相談に応じるものですが、予想以上に来場者が多く、子供づれの方もあり、会場には体験コーナー、子供の遊び場もあり大変賑わっていました。

相談者の状況ですが、知名度の高い市町村や利便性の高い市のブ

村長寄稿

相談会での様子



仕事情報を発信中！なんもくジヨウシリーズ

かのかでの様子(プライバシー保護のため写真を加工しています)



南牧村に移住を検討される方をサポートする中で移住コーディネーターがこの2年間、村内の事業所等取材し、ウェブ上に写真と文章で「南牧村の人は何を仕事で働いているのか?」とよく聞かれます。南牧村には人手を募集している会社や事業所はいくつもあり、アルバイトも募集中。働かなくても日数や時間の希望は比較的通りやすい。は見えづらく働きたい人は、優しく

南牧村に移く、なかなか人が集まりにくいという方も、思いやりがあり、高齢者に対する敬意をもって接することができるところ。数だからこそ、アットホームな空気を感じることができる職場だ。』と働き方を具体的にイメージできるような工夫をしています。ウェブ上では他にも10件ほどのお仕事を紹介しています。中の様子をぜひご覧ください。

大井川寄稿